

エンジョイ派も!!

リアルな シミュレーションゴルフ



3D化されたコースで
ゲームモードを楽しめる。

PC版「スカイトラック」なら5000枚以上の実地写真と空中撮影画像を組み合わせることでリアルな3Dグラフィックを体感できる。練習場、アプローチ、ニアピンなどのゲームモードも楽しめる。



プロジェクターと
スクリーンがオススメ。

予算に余裕があれば、ゴルフネット代わりにできる消音スクリーン、プロジェクターなどのオプション品を組み合わせることで、さらに本格的なシミュレーションゴルフを実現することができる。



国内有名20コースの
プレーも選択できる。

収録コースは、石岡ゴルフコースなど国内の有名な5コースを含むスタンダードパッケージと、最大8人で20コースをプレーできるプレミアムパッケージがある。

ショットもスイングも課題が
一目でわかるのがイイですね!



「スカイトラック」を使ったデータ計測やシミュレーションゴルフに「雨や雪の日でもゴルフを楽しめそうです」と大満足の栗田夫妻。

アスリート派も!!

世界基準の データ分析システム



弾道測定の主要な
9つのデータを計測。

飛びの3大要素「ボール初速」「打ち出し角」「バックスピンの量」を高精度で計測。その他「ヘッドスピード」「サイドスピンの量」「打ち出し方向」「スピンの軸」「キャリー」「トータル飛距離」も確認できる。



オプションで
スイング分析もOK。

オプションのスイング分析システム「モーションリプレイカメラ」はスイングを正面&後方の2台カメラで撮影、プロや以前のスイングと比較など様々なツールを利用したスイング分析が可能になる。PC版にカメラ1台から接続可能。10万5000円~(税別)。

持ち運びもカンタン!

リーズナブルな
高精度弾道測定機

『スカイトラック』で 我が家がゴルフスタジオに!

折りたたみ式の打球ネットや打球マットがあれば、ボールの前に「スカイトラック」を置くだけでOK。基本的に工事不要で、費用も26万5000円~(税別)で導入できる手軽さが魅力だ。今冬、暖かい家の中で楽しみながら練習し、ライバルに差をつけよう!

計測できる打球スペースは幅3メートル、奥行5メートル、高さ3メートルあれば十分。庭はもちろん、広めのリビングでも使用できる。
タテ18センチ、ヨコ15センチ、厚さ6センチぐらいで、重さはたったの725グラム。弾道測定機「スカイトラック」は、こんなにコンパクトなので家の中に置くのも、練習場へ持ち出すのも、とてもイージーだ。

家の中でも、庭でも!
軽く持ち運べる
コンパクトな計測機。

SKYTRAK

これから寒さが身に染みる季節。外に出るよりインドア練習場などでスイングや打球データを計測しながら練習するほうが上達には効きそう。実はその計測、家でも手軽にできる方法があるんです!



ゴルフ大好き
栗田夫妻宅にも導入!

自宅の一室を練習場兼クラブ工房にしている栗田英俊さん。弾道計測データをシャフト選びに活かそうと「スカイトラック」導入を決定。「シミュレーションゴルフ用のプロジェクターとか、オプションをしっかりと充実させたら、かなり費用がかさみましたが(笑)。楽しめるぶん、すぐに元が取れそうです」と栗田さん。家族でシミュレーションゴルフも満喫しているという。



Check!!
スクリーンで
シミュレーション
ゴルフも
楽しめる!

Check!!
液晶モニターや
タブレット端末で
データチェック!

Check!!
軽くて小さいから
設置場所にも困らない!

▲▶スクリーンに映ったショットの結果を見ながらスイングチェック(上)。計測時のボール位置は「スカイトラック」が赤いレーザーで指示。(下)「スクリーンが衝撃を吸収して、球がハネないので安心」と栗田氏(右)。